

品 番	適 合 ラ ン プ	適 合 ポ ール	適 合 ア ー ム
YEV42441	エバーライト150 (電球色)	YDX7161 (V8SBG)	YD616
YEV42641	エバーライト150 (白色)	YDX7111 (V10SBG)	YDX666 (V3YG)

※ポールを取扱説明書は、別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。

器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施 工 説 明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡ししてください。

安全に関するご注意

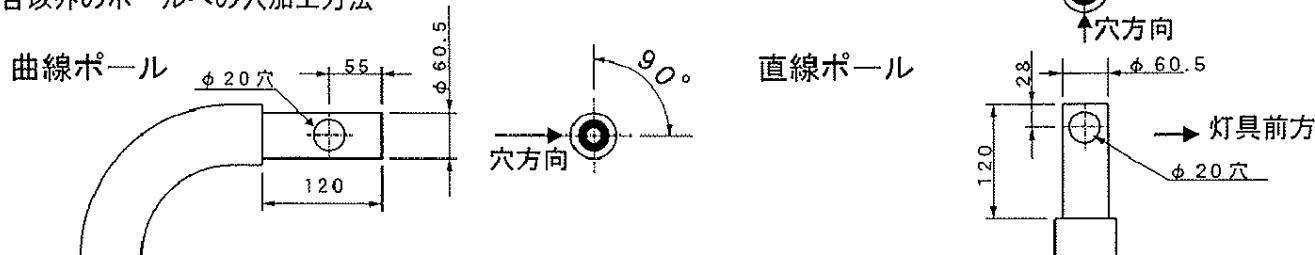
⚠ 警 告

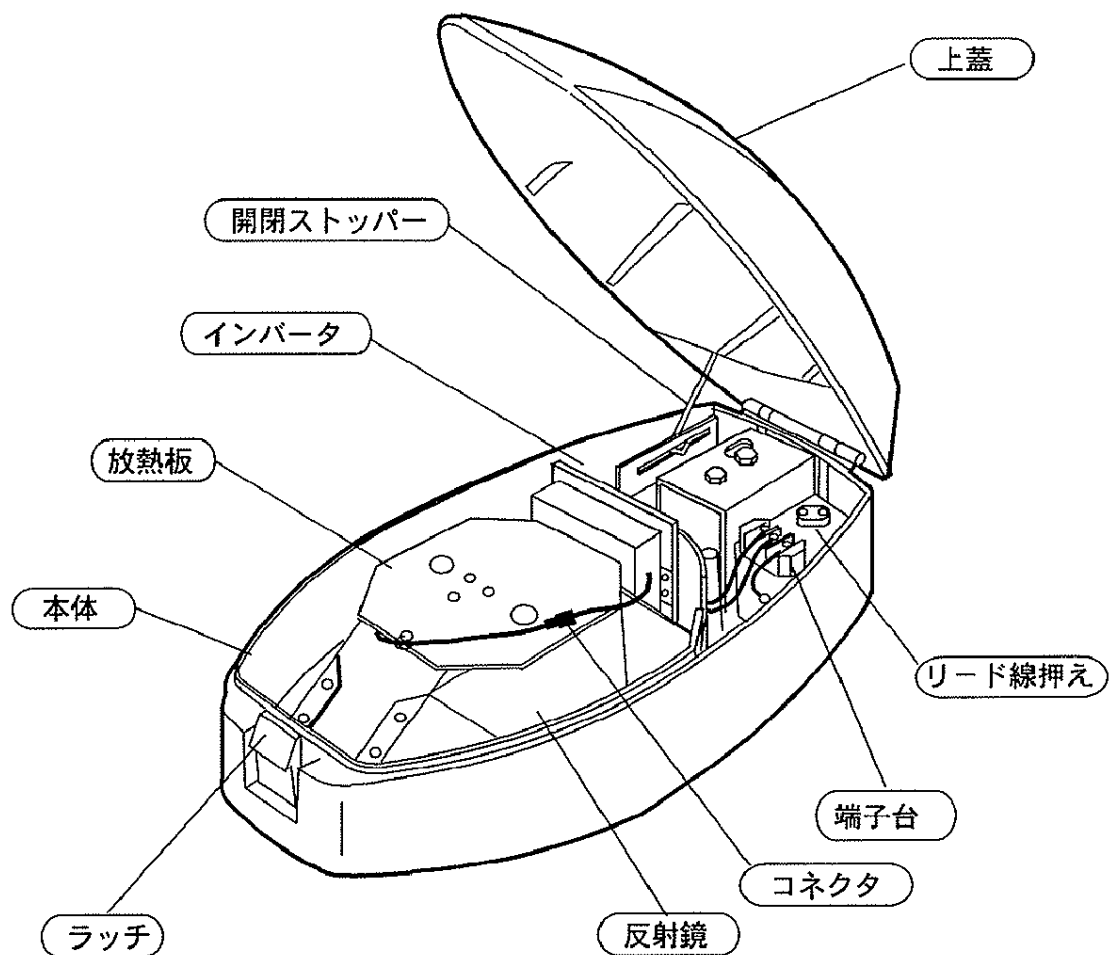
- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると発火・感電・落下・ポール転倒の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実に行ってください。接続に不備があると感電の原因となります。
【電気設備技術基準】
- 器具の改造は、絶対に行わないでください。発火・感電・落下の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しないでください。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。

⚠ 注 意

- 器具の持ち運びや取付工事の際、リード線には張力を加えないでください。
リード線の損傷による感電・発火の原因となります。
- ポールに、はしごをかけての施工や、バケット車の使用できないような狭い場所では使用しないでください。
ポールのキズつき、傾き、けがの原因となります。
- 周囲温度は35℃以上では使用しないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。発火及びランプ・ユニットの短寿命・破損の原因となります。
- 周囲温度－10℃以下での使用はお奨めできません。明るさが得られない場合があります。
- 始動時にピーク13A（200V）程度突入（インラッシュ）電流が発生しますので
弊社製配線器具に接続できる灯具台数は、承認図又は施工手順の3を参照してください。
発火の原因となります。
- 適合以外のポール、曲線ポールを使用する場合は穴加工が必要です。予め下記の穴加工を施してください。
穴加工がない場合、器具落下の原因となります。

* 適合以外のポールへの穴加工方法





⚠ 警告

施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。

(注) 灯具の施工は必ず2人以上で行ってください。

付属品の確認

- ・ラッチを外し、上蓋を開け、ポール受上部に貼付けてある付属品が下表の個数あるか確認する。
- ・上蓋を閉め、ラッチを掛ける。

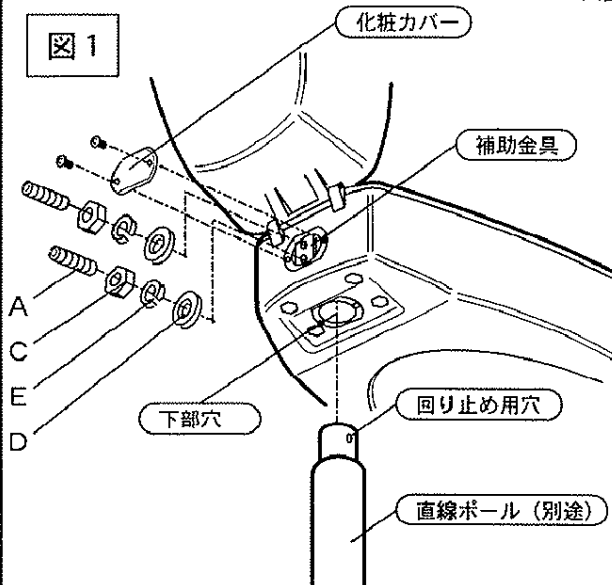
付属品		使用数	
		直線棒用	曲線棒用 2灯用
A. M10×45 六角穴付止めねじ	×2個	2個	不要
B. M10×50 六角ボルト	×2個	不要	2個
C. M10 六角ナット	×2個	2個	2個
D. 呼10 平座金	×2個	2個	不要
E. 呼10 ばね座金	×2個	2個	不要
G. M 6×16 六角ボルト (接地用)	×1個	1個	1個

(注) 付属品はポール受上部に貼付けしています。

直線ポール YDX7161 (V8SBG)、YDX7111 (V10SBG) に取付ける場合

※曲線ポール、2灯用アームに取り付ける場合は4ページを参照してください。

図1



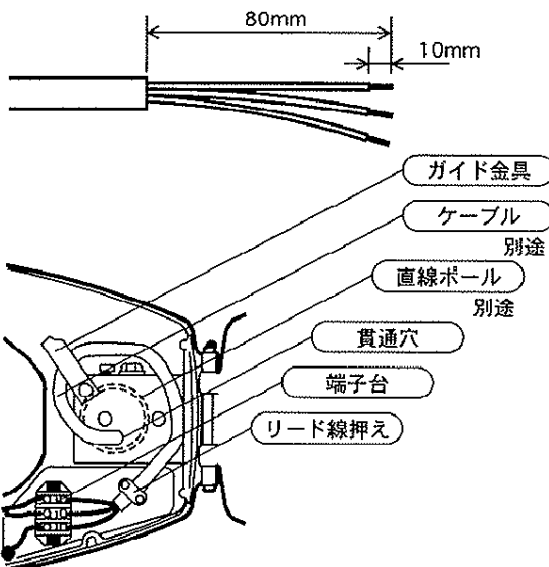
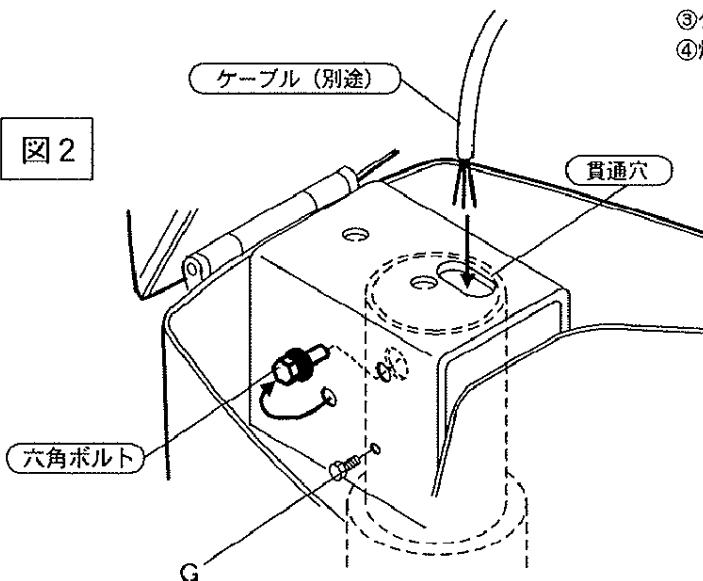
1. 灯具を取付ける

- ①化粧カバーを外す。(以下図1参照)
- ②ラッチを外し、上蓋を開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。
- ③図2のように六角ボルトを外す。
- ④本体下部穴にポールを差し込む。
- ⑤付属品のA、C、D、Eを補助金具に取付け仮止めする。
- ⑥A、六角穴付止めねじを六角棒レンチで確実に締付ける。
(締付トルク 14.7~24.5N・m (150kgf・cm~250kgf・cm))
- ⑦C、六角ナットをソケットレンチで増締めする。
- ⑧化粧カバーを取付ける。
- ⑨作業③ではずした六角ボルトをポール受けの上の方の穴に取付け、ポールの回り止め用穴を貫通させ、確実に締付ける。(以下図2参照)
- ⑩付属品のG(接地用)をポール受けに取付け、ポール塗膜にキズがつくまで締付ける。

2. ポールにケーブルを通す

- ①ケーブルは3芯ケーブル(φ2.0又は3.5mm以下)をご使用ください。
- ②貫通穴からメッセンジャーワイヤーを使い、ポール内にケーブルを通す。
- ③ケーブルの先端はポール下部の開口部から50cm程度出るように下ろす。
- ④灯具側は貫通穴より50cm程度出るようにして切断する。

図2



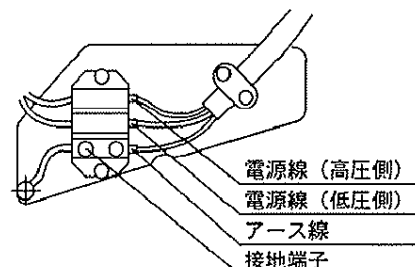
3. 電源線・アース線を接続する

- ①灯具側端子台に取付ける側のケーブル先端の外被覆を80mmむく。(左図)
- ②R型圧着端子(R4)を電源線・アース線に取付ける。
- ③ケーブルを左図のようにガイド金具の下を通す。
- ④電源線・アース線を端子台に確実に接続する。

極性：下図参照

接続が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因となります。

- ⑤結線後は必ずリード線押えでケーブルのシース部を押える。
(締付トルク 0.8~1.2N・m (8.2~12.2kgf・cm))



4. 上蓋を閉める

- ・片手で上蓋をささえ、開閉ストッパーのロックを解除し、上蓋を閉めラッチを掛ける。

曲線ポール、2灯用アーム YDX666 (V3YG) に取付ける場合

※直線ポールに取り付ける場合は2ページを参照してください。

1. メッセンジャーワイヤーを通す

・曲線ポール、2灯用アーム内にメッセンジャーワイヤーを通す。

2. 灯具を取付ける

- ①化粧カバーを外し、下部に取付けし直す。
- ②ラッチを外し、上蓋を開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。
- ③付属品のB・Cをポール受け、補助金具に取付け仮止めする。
- ④ポール受けにある六角ボルトをゆるめる。
- ⑤本体後部穴にアーム（又は曲線ポール）を挿入する。
- ⑥Bの六角ボルトを確実に締付けた後、（締付トルク $14.7 \sim 24.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($150 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \sim 250 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)) Cの六角ナットを増締めする。
- ⑦作業④でゆるめた六角ボルトを確実に締付ける。
- ⑧付属品のG（接地用）をポール受けに取付け、ポール塗膜にキズがつくまで締付ける。

3. 曲線ポール、2灯用アームにケーブルを通す

- ①ケーブルは3芯ケーブル（ $\Phi 2.0$ 又は 3.5 mm^2 以下）をご使用ください。
- ②メッセンジャーワイヤーを使い、曲線ポール、2灯用アーム内にケーブルを通す。
- ③ケーブルの先端はポール下部の開口部から50cm程度出るように下ろす。
- ④灯具側はポール受けより50cm程度出るようにして切断する。

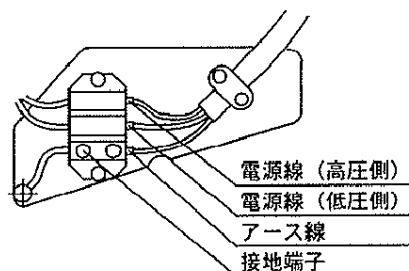
4. 電源線・アース線を接続する

- ①灯具側端子台に取付ける側のケーブル先端の外被覆を80mmむく。（左図）
- ②R型圧着端子（R4）を電源線・アース線に取付ける。
- ③ケーブルを左図のようにガイド金具の下を通す。
- ④電源線・アース線を端子台に確実に接続する。

極性：下図参照

接続が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因となります。

- ⑤結線後は必ずリード線押えでケーブルのシース部を押える。（締付トルク $0.8 \sim 1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($8.2 \sim 12.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$))



5. 上蓋を閉める

・片手で上蓋をささえ、開閉ストッパーのロックを解除し、上蓋を閉めラッチを掛ける。

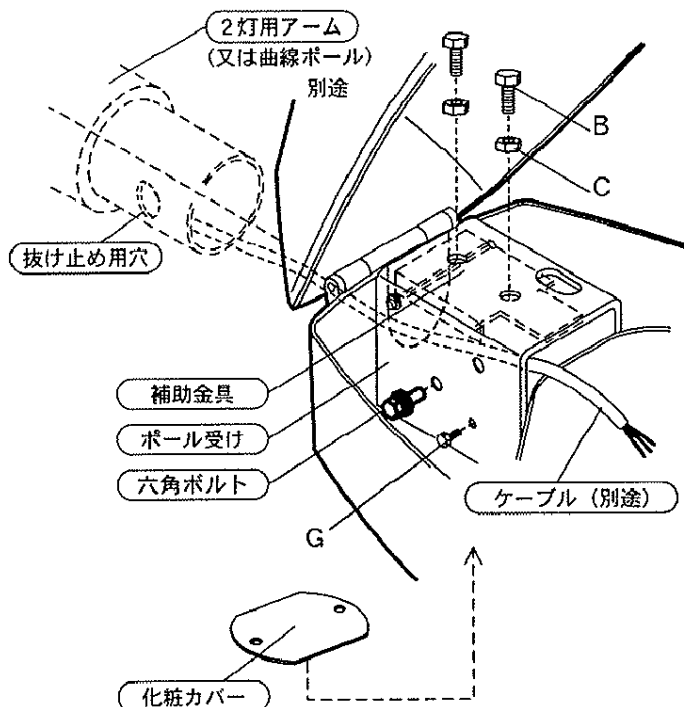


図4

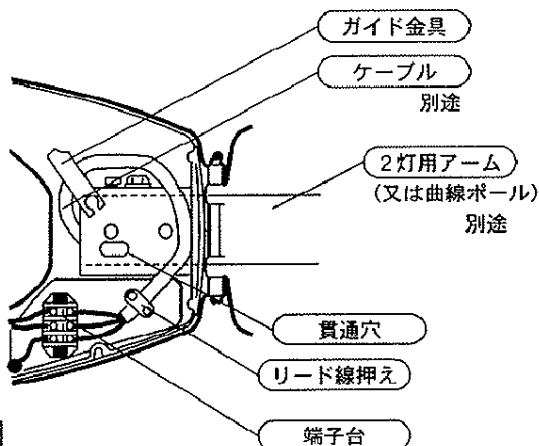
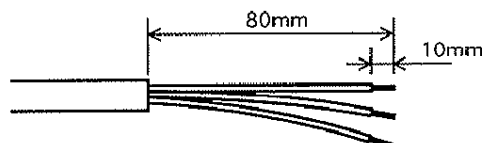


図5

■初期点灯黒化について
点灯初期に発生する現象です。
管内の水銀がバルブ上部に付着することによって起こります。
点灯中は、温度の上昇によって水銀が蒸発し、黒化は消えます。
点灯後、再度黒化が発生することがありますが、点灯を続けることで黒化は減少します。
この現象は、ランプの寿命や特性には影響ありません。



最大接続灯数（1回路当り）

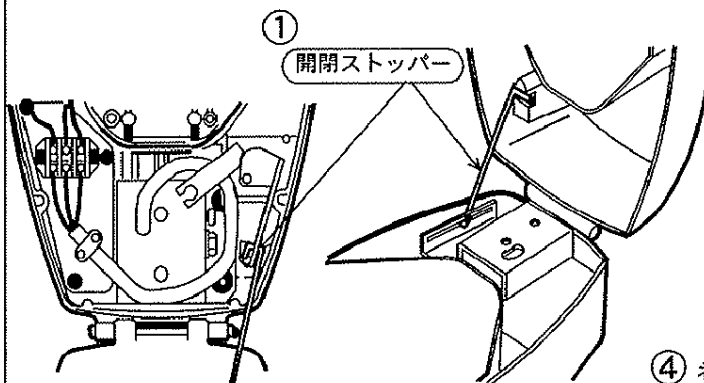
・ 始動時にピーク13A（200V）程度の突入（インラッシュ）電流が発生しますので、弊社製配線器具に接続できる灯具台数は下記を参照してください。

弊社製配線器具	AC200V	AC242V	感度電流
15A フルカースイッチ	15台	12台	—
20A フルパワーリモコンリレー	17台	20台	—
T/U付6A リレーユニット	7台	8台	—
20A リモコンブレーカCL型	14台	16台	—
20A カンタッチブレーカ	14台	16台	—
20A コンパクトブレーカ	12台	—	—
20AHA ブレーカ	14台	—	—
20A リモコン漏電ブレーカCLE型	14台	—	15mA/30mA
20A カンタッチブレーカBKFE型	14台	—	30mA
20A コンパクト漏電ブレーカ	12台	—	30mA
20A 小型漏電ブレーカ	14台	—	30mA

接続に不備がありますと感電・火災の原因となります。

ランプ交換時の反射鏡の外し方

① ラッチを外し、上蓋の開閉ストッパーのロックがかかる状態まで開ける。



② コネクタを外す。

③ 反射鏡を固定しているネジ（2本）を外す。

④ 反射鏡を固定しているネジ（2本）をゆるめる。

※外さない事

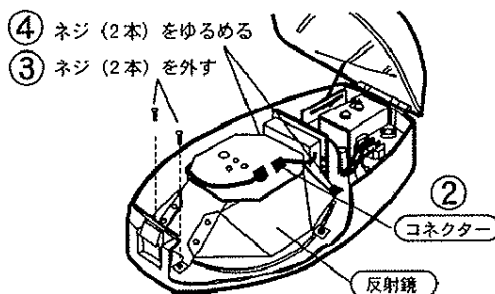
⑤ 反射鏡を器具から取り出し、ランプ交換する。

ランプ交換は、ランプの取扱説明書に従って、作業を行ってください。

⑥ 逆の手順で反射鏡を取り付ける。

⑦ 終了後は上蓋をささえながら開閉ストッパーのロックを解除し、上蓋を開め、ラッチを掛ける。

強風時は作業を行わないでください。
ケガ・灯具破損の原因となります。

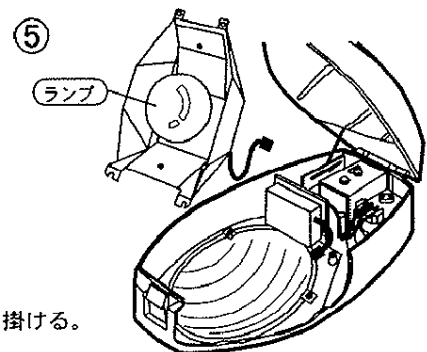


警告

ランプの脱着及び取扱い時は、落下・衝撃などによる破損に備え、安全のため眼鏡などを使用し目の保護を行なってください。

注意

- 電気工事店などの専門家以外は、上蓋を開けないでください。
- ランプの取付け、取外し時は必ず電源を切って作業してください。
- ランプに衝撃を加えないでください。
ランプが破裂し、ガラスが飛散する可能性があります。



安全に関するご注意

より安全にお使いいただく為に
前ページもお読みください

下記事項をお読みにになり正しくお使いください。誤った使い方をされると落下の原因になります。

⚠ 警告

- 器具の改造および、構成部品の交換をしないでください。感電・発火の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなど異常状態のままで使用すると、発火・感電の原因となります。異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
- グローブはガラスですので衝撃が加わると、破損するおそれがあります。ご注意ください。

⚠ 注意

- お手入れの際には、必ず電源を切り器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して15年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度 30℃、1日12時間点灯、年間4400時間点灯です。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

保証について

1: 保証について

この商品の保証期間は1年間です。エバーライトユニットは3年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2: 保証書について

保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

3: 補修性能部品（電気部品）について

弊社はこの照明器具の補修性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

⚠ 注意

- ・必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因になります。
- ・器具の上蓋を開けての作業は行わないでください。
必要場合は、電気工事店にご依頼ください。ランプ破損時、事故の原因となります。

- 器具の清掃について……………汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。
感電の原因となります。
- ランプについて……………万一、衝撃などにより、ランプが破損してしまった場合のランプ補修は、販売店・電気工事店にご依頼ください。

定 格

定格電圧	定格周波数	入力電流	消費電力
AC200～242V	50Hz/60Hz 共 用	0.85～0.73A	165W